

令和6年度 第2回東京都サービス管理責任者等研修検討会 議事録【要旨】

日 時 令和6年8月8日（木曜日）午前10時から午前12時まで
 開催場所 東京都心身障害者福祉センター12階研修室
 出席者 妹尾委員長、宮田副委員長、会田副委員長、徳武委員、小出委員、相良委員、岡田委員、樋口委員、渡辺委員、横山委員、清水委員、丹澤委員、吉田委員（欠席 橋爪副委員長、清水委員）
 事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長 外川 他3名
 公益財団法人総合健康推進財団職員 4名

1 開会

事務局	・資料確認（事前にメールにて送付済み） 次第 資料1 東京都のサービス提供事業所において障害児者の豊かな生活の実現に向けて取り組む現場のリーダー※の姿 Ver.5 参考資料1 令和6年度サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修実施要綱 参考資料2 令和6年度サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修プログラム案 ・研修の委託先の公益財団法人健康推進財団の方も参加をしている。 ・記録のため速記者の参加と録音させていただくこと、また今回の検討会の議事録（要旨）はホームページでの公開対象であることについて、ご了承いただきたい。ただし、資料については、出席委員の意見により公開、非公開を決めることができる。
-----	--

2 研修実施状況の報告

妹尾委員長	・検討事項に入る前に、総合健康推進財団と事務局から、現在の研修実施状況の報告をお願いしたい。
総合健康推進財団	【基礎研修】 ・第1回は定員1,200名で募集、申込が1,798名、1,250名を受講決定。オンライン動画の未視聴者が、うち53名。全体の4.24%。昨年は141名の未視聴者がいて全体の11.2%だった。リマインドメールを動画視聴の初日に送った結果、未視聴者の大幅な減少として効果が見られた。8月13日から演習がスタートし、研修の四、五日目に該当する。全12コース24日間で、9月20日までの実施となる。 ・第2回は同じく1,200名の定員に対して、現在募集中。研修の実施日ですが、10月下旬から12月下旬を予定している。 【更新研修】 ・定員が1,400名になり、申込者数が831名で非常に少ない数ではあるが、ほぼ全員が受講決定している。今年度は演習終了後から3日間の間

	に事後動画を見て終了という流れになる。先日、スーパービジョン部分の説明会を8月6日に実施し、42名に参加いただいた。 【実践研修】 ・定員1,600名で、9月中旬から2週間、募集期間を設ける予定。動画配信が12月中旬から。演習が来年1月から2月下旬までとして準備を進めている。 【第1回専門コース別研修】 ・定員が250名で、募集が既に終わっているが、申込みが183名。動画配信は10月下旬に行う予定で進めている。
事務局	【演習指導者養成研修】 ・センター直営でやっている演習指導者養成研修の募集結果、受講決定について報告する。 ・第1回、第2回の基礎研修の演習日程に実習として参加することとし、一回につき25名定員として開催する。募集に先立ち、昨年度末から福祉局障害者施策推進部より区市町村及び東社協等関係団体を通じて広く推薦の協力依頼を行った。従前から講師ファシリテーターとして協力いただいた方々、団体を通じた推薦、部からの推薦によって48名の推薦をいただくことができた。都合により辞退も出て、45名の受講者を決定している。 ・第1回目として、1日目を7月25日に開催、2日目は8月2日に基礎研修のファシリテーター説明会に参加ということで実施した。8月13日以降、第1回基礎研修の演習に受講者がファシリテーターとして参加する。
妹尾委員長	・引き続いて、本日の会議までの各検討チームの動きについても報告いただきたい。 ・相良委員からは、演習指導者養成研修の第1日目の報告を。8月2日に行われた基礎研修ファシリテーター説明会の報告を橋爪委員が欠席ということで、岡田委員が代読でお願いしたい。8月6日の更新研修のスーパービジョンの説明会を会田委員にお願いしたい。
相良委員	・演習指導者養成研修第1回目が7月から9月末にかけて行われ、21名の方が参加する。1回目の1日目は、株式会社マーケティングインサイトの尾上氏による「ファシリテーションの基礎」という講義・演習と基礎研修チームの岡田さんによる基礎研修の概要の説明を行っている。 ・今まで演習指導者養成研修はファシリテーターや心身障害者福祉センターの方から、顔の見える形で声をかけ募集してきたが、ファシリテーターが不足しているということで、応募の幅を広げて顔が見えない方にも声をかけた。少し不安はあったが、1回目の演習指導者養成研修の初日に岡田さんも私も参加し、参加者は優れたファシリテーター、教室進行を担っているのではないかなと思った。期待していただければと思う。基礎研修の説明会時にも説明したが、演習指導者養成研修を通して初めて参加するファシリテーターの方には、教室進行の方が、基本的なメインのサポート役になっていただき、ファシリテーターでベテランの方は、自分のグループのワークもあるけれども、余裕がある限り質問などに答えていただければと思う。一人でも多く育っていつてもらえたらと思っている。
岡田委員	・基礎研修の橋爪リーダーが本日欠席ということで、メッセージを託された。これを中心に報告させていただく。 ・8月2日に第1回基礎研修のファシリテーターと説明会が行われて、今年

	度もオンラインで行ったが、大きな混乱もなく無事に終了することができた。 ・先ほどの説明で、今回、演習指導者養成研修の方が21名参加されたということなので、今まで以上に極力分かりやすく、演習当日がイメージできるよう説明を行った。そして、もともと基礎研修は、支援プロセスの理解、個別支援計画の作成スキルの習得、サビ管、児発管業務の全体像の把握ということを目的にしていることを改めてお伝えしている。 ・この目的がかなうよう毎年、基礎研修をアップデートしているつもりだが、今年度は支援プロセスを強調するために、演習2、3、4の流れを少しいじったというか、昨年度までは、演習5、6、7で個別支援計画を作ってモニタリングして、支援会議をし、最終作成という流れ、つながりが意識できたかと思っていたが、その前の演習1、2、3、4から5の流れが受講者に少しイメージできないかというところもあったので、その辺りを今年度アップデートしている。 ・また、演習指導者養成研修の方が二十何人入ったこともあるので、ファシリテーターのコメントもある程度絞ってコメントしていただくようお願いしている。具体的には、できれば現場での話をしてもらいたいとお願いをするが、追加するようなポイントを話される方もおり、いろいろな要素が入ると分かりにくくなる受講者もいるかと思ったので、その辺りを整理している。 ・演習指導者養成研修の方に誰がフォローするかという役割の確認、オンラインだがファシリテーター説明会が終わった後に教室進行の方に残っていただき、新しく入る演習指導者養成研修の方と顔合わせを行った。 ・説明会がオンラインになって、質問が少なくなってきた印象があって、説明するほうとしてはほっとしているところもあるが、資料を事前に読み込んでいないのかとちょっと不安もあったりする。その辺りをオンラインでやる上で、特に1回目で初参加の方、2回目の参加者にも、しっかり読み込んで参加するよう呼びかけがあっても良かったかと思っている。
妹尾委員長	・それでは引き続き、会田委員からお願いする。
会田副委員長	・更新研修だが、令和5年度まで行っていなかったスーパービジョンというカリキュラムが令和6年度から追加され、今年度初めて行うので、9月に更新研修全体の演習の説明会は行うが、それとは別にスーパービジョンだけの説明会を、8月6日に3時間ぐらいかけて行ってきた。 ・演習4が事例検討のスーパービジョン、演習5がサービス提供職員等へのスーパービジョンというところで、実際ファシリテーターの方に受講者の立場に立ってやっていただけたかなと思っている。最初に、徳武さんのほうから、スーパービジョンの講義部分が3時間だが、事前動画で配信しているので、その講義3のスーパービジョンの概要を短縮して説明をしていただいた。そこでスーパービジョンとは何かというところを触れていただき、その後、皆川さんが実際に演習4の事例検討のスーパービジョンを全体進行を行いながら、演習ノートに沿う形でやってみたというところ。 ・その後、休憩を挟んで、演習5サービス提供職員等へのスーパービジョンを徳武さんが進行してくださって、実際スーパービジョンを行うサビ管役、スーパービジョンを受けるバイジー役という2人1組になっていただき、それを周りの役に入っていない受講者が観察するという形で行った。

	・質疑応答が15分ほどあったが、演習4事例検討のスーパービジョンについては、目的のところで主語がどこに当たるのかということで、対象が明確ではないのではとの意見もあった。この後の更新研修チーム打合せで、改めて目的の確認であったり、演習ノートの修正が必要かを見直していただけたらと思っている。 ・実際、演習4をなぞって進めてみたが、シナリオをなぞるだけだともったいない、一つ一つ区切って進めても良かったかという意見もあったので、進行スライドも見ていただけたらということと、演習5のサービス提供職員へのスーパービジョンについては、ステップ1から5を踏まえながら行っていたが、レクチャーを受けていない人が、いきなり受講してワークをしても難しいかもとか、ステップをやった後に実際ロールプレイをし、振り返りとして考えてみるのもいいのではと意見をいただいたので、それも打合せしていただけたらと思っている。もっと時間があつたら質問が来ていたと思うが、大体そういった意見を受けて持ち帰ったところ。
妹尾委員長	・ありがとうございました。今、報告をしていただいたが、それぞれの進行状況や、これからの修正事項について報告されたと思うが、ご質問等ありますでしょうか。特に無いようなので先に進めさせていただく。 ・次に、事務局から、国主催の今年度のサービス管理責任者指導者養成研修会について説明をお願いします。
事務局	・今年度のサービス管理責任者等指導者養成研修会は、9月10日から9月13日までの4日間で開催されることになった。4日間のうち、9月12日は専門コース別研修、9月13日から15日までは、サビ管児発管の研修部分として、基礎、実践、更新の各研修部分として実施される。 ・実施方法は、9月10日の専門コース別研修はZ o o mによる双方向の通信形式。9月11日から13日までは国立障害者リハビリテーションセンター学院で開催される。 ・今年度の受講をお願いします、既に厚生労働省から受講決定を受けた皆様について報告をさせていただく。10日の専門コース別研修に参加いただく方々は、意思決定支援研修コースは、令和6年度東京都相談支援従事者研修検討会委員の芝委員に、障害児支援研修コースは、同委員の稲垣委員にお願いしている。就労支援研修コースは、事務局小野瀬が参加する。 ・こちらのコース別研修は、相談支援従事者等共通のプログラムとなっていて、相談支援従事者検討会委員からの委員の出席が可能になっている。 ・続いて、11日から13日までの3日間のサビ管・児発管研修部分については、基礎研修コースは吉田委員、実践研修コースは樋口委員、更新研修コースは丹澤委員にお願いをしている。研修の内容は、次の第3回検討会で報告をお願いする予定。皆様、よろしくお願いいたします。
妹尾委員長	・説明どうもありがとうございました。お手元の資料の参考資料1に基づいて説明があつたが、何か質問や確認等あるか。
各委員	(発言なし)

3 検討事項

妹尾委員長	・次は式次第の1、検討事項となる。各研修プログラムの作成について、話を進めたい。ここからは検討チームに分かれて意見交換をしていただく。検討内容は、基礎研修については第1回研修実施の確認、実践研修は研修
-------	--

	プログラム等作業スケジュールの確認、更新研修は先ほど報告もあった、8月6日のSVの説明会の振り返りと9月3日のファシリテーターの説明会に向けての確認となる。では、グループに分かれて、お願いする。
--	--

(チーム討論)

妹尾委員長	• それでは再開させていただく。皆様、実際のプログラムが始まる直前ということで、詰めの準備、打合せが大変と思うが、早速だが、各チームの各副委員長より検討結果の報告を基礎、実践、更新研修の順番でお願いします。
吉田委員	• 基礎研修だが、来週からいよいよ始まるに当たって、改めて、この前のファシリテーター説明会で出た意見を受けての修正点の確認、そのまとめ、進行スライドのまとめを簡単にした。また、実際にA日程から、研修を終えての反省や課題、気づいた部分の共有方法を、基礎研修のメーリングリストでやっているが、基礎研修チームでない方の教室進行もあるので、その方々との共有方法の確認をした。 • 全体で言うと、基礎、実践、更新研修のつながりを意識した演習になるにはどうしたらいいか意見を出し合いながら話をした。東京都の「現場のリーダーの姿」バージョン5に書かれている基礎研修の目的「利用者の幸せのため心に寄り添う」などを確認をし、今の基礎研修でこれが網羅できているのか、あとは実践研修、更新研修と連動してつながりができているのか、また個別支援計画作成のプロセスや必要性の理解など、どこまでできているかを検討チームで話した。 • いろいろな意見はあった。どういうふうに実践と更新とつながりができるかを考えて出た意見として、他の検討チームと内容やその方針、大きな枠組みや方針について、もう少し議論を深めたり、話し合いができると、それぞれの研修で連動が、よりできるのではないかなという話が出た。 • 具体的には、どういうふうにしたらいいのか、あまり大人数で話してもまとまりがなくなるから、少し細分化して、代表がそれぞれ話し合ったりとか、内容を詰めていくみたいなのもあるのではないかなという意見が出た。横山さん。補足をどうぞ。
横山委員	• 私は分野が児童なので、基礎研修は大枠、本当にプロセスなので、児童の方が基礎研修全体から、置いていかれないようにするためにというところでは、やっぱり専門的な視点をきちんと学んでもらうために専門コース別研修の受講を声を大にしてお勧めしたい。 • 対象が基礎研修修了した方と思っていたが、制度が変わって、システムも変わっていて、児発管に就任する予定がある人または現在児発管の方であれば実践研修が修了した方にも更新研修でも、改めて児童の在り方とはどうだろうねとか、そういう動向を含めて学んでもらういい機会にはなるのかなと思う。そんなことを実践研修、更新研修でもどこかでアナウンスをしてもらえるといいということを、主観も含めお話ししたところです。
宮田副委員長	• 実践研修の宮田です。よろしくお願いします。 • 実践研修はまだ、演習等が始まっていない。資料の修正をしている。先日基礎研修に参加した小出さんから基礎研修の動画がすごくよかった、解説動画がすごく分かりやすくなっていたと聞いた。それを参考にしたいという話になり、動画を撮り直したいという話になっている。

	・ S Vの説明会のほうでも、事例検討会と S Vがやっぱり結構つながりがあるので、その辺り、流れの説明は同じ感じだった。どういうふうに違いを出していくとか、そこにどういうふうにつながりを持っていくかみたいなところを、また考えて、事例検討会の目的みたいなものを少し明確にして、資料を作り直したいという話になっている。 ・ 事例は、国のものを結構使っていたが、もう少し細かく設定をして、個別支援計画書の作成がしやすいような形に修正をしたり、他の研修のことを参考にしている。基礎研修では、事例を時系列でまとめられていてすごく分かりやす。受講者が取り組むと、事例の理解を深められていいのではと話をしている。 ・ 昨年度は新たに設けた内容などがあり時間配分が初めてということで、教室進行の方に負担をかけていたので、時間配分を説明して、一つずつ終わっていけるような形で、しっかりと資料を作り直したいと考えている。 ・ 9月ぐらいに検討チームで集まり、資料を持ち寄って修正をして、10月以降動画撮影をしたり、進行スライドの修正に向かったりしたい。
会田副委員長	・ 更新研修について、ご報告する。 ・ 更新研修は、事前の動画と事後の動画の撮影はもう終了している。あとは集合型の演習に向けて、各演習部分、今後どういうところを取り組んでいくかを確認した。 ・ 9月4日にファシリテーター説明会に向けて伝えるポイント、事前にファシリテーターの方に送付する資料、説明会後にダウンロードできる資料、それぞれの持ち時間を確認した。 ・ 演習4と演習5のスーパービジョン部分が、今年度初めてになるので、その部分の確認が多かった。一昨日の説明会を受け、演習4であれば、事例検討のスーパービジョンの項目の目的は、サビ管・児発管を明確にイメージできる内容に変えた。あとは、事例検討のスーパービジョンは、一つ一つの項目の区切りを、担当の皆川さんが作り、当日受講者に配布することで、混乱が減り教室進行が進め易くということを意識して直している。 ・ 演習5スーパービジョンは、スーパービジョンのステップの踏み方のポイントをより受講者に分かりやすくするため、教室進行の進行スライドに補足して、スムーズに取り組めるようにしたというところ。 ・ 9月4日まで時間があるので、引き続き変更点をどうするか、説明に向けてのポイントをどうするかというのを詰めていきたい。もう少し時間があるので補足をどうぞ。
徳武委員	・ 徳武です。一昨日の S V説明会は、本当はもっと時間取っていろんなご意見いただきましたかった。演習ノートの締め切りを今日まで延ばしていただき、説明会で出た意見も最大限取り入れた。ただもう、根本的なところは変えられない。ただ、いろいろ意見いただき我々にとって良かった。 ・ 今年は1年目なので、ちょっとやり方を失敗しながらも、より良いものにしていけたらいいと思う。皆さんからは本当に忌憚のないご意見等をお願いする。
妹尾委員長	・ 各研修チームの皆様、ご報告どうもありがとうございました。 ・ ここからは、少し報告に対しての質疑応答の時間としたい。
渡辺委員	・ 今の研修とは少し外れてしまうが、専門コース別研修について、ここで議論するか分からず、今発言を迷った。実は、私が就労支援をやっている中

	で、刻々とその就労支援の支援方法は変わってきている。例えば、今、児童は専門別があるが、就労のほうはまだ、これからというところで、ぜひ早めに検討する機会があるといいなという意見を持っている。 ・支援を引き継ぐということが今、起こっていく中で、定着支援事業のほうから、例えば、市区町村の就労支援事業のほうに引き継ぐ際に、生活の課題というところを取り組んではいたと思うが、就労支援の課題に直結すると、いわゆる就労と生活の表裏一体関係が曖昧というか、解決しないままに支援が引き継がれるケースがある。実際、私も受けたこともある。 ・障害者雇用に関する現状、雇用率ももちろん変わってきているし、企業さんのやり方も変わっているとか、東京都が今行ってるソーシャルファームの事業のこととか、それから支援者に対する、求められる企業からの内容も変わってきているので、そういったものを専門別のほうに入れて、支援者自身にブラッシュアップしていただきたいぜひお願いしたいなというふうに思ったので、発言させていただいた。
妹尾委員長	・この件については何か、事務局のほうからありますか。
事務局	・ご意見をいただいたということで、ありがとうございます。
妹尾委員長	・そのほか如何ですか。横山委員、お願いいたします。
横山委員	・更新研修の皆様が開かれたＳＶの説明会の参加時は時間もなく、その場での発言は控えた。この機会に、演習ノートがまだ間に合う事情もありそうなので、願います。 ・例えば、基礎研修もここを着地にしたいねと、ここを狙っていくためにこうしていこうというふうに演習を作っている。どのチームも皆さんそのように、落としどころを決めて演習を組み立てていると思う。この間ＳＶの説明会では、自分たちも演習をなぞるように体験したが、初見ではすごく難しい。ファシリテーターの方は、ベテランの方もいれば、デビューレベルの方もいる。私も何年かやっているが、追いつかないと思う瞬間があった。 ・会場において、ファシリテーターが詰まると、質問を受けても、回答がしづらい。また、あまり自分の思いだけで回答して、更新研修チームが考えている狙いからずれた回答になるのも困る。 ・基礎研修チームは今年それを防ぐために、コメントはこういうふうに絞ってほしいというふうにお願いをしている。 ・ちょっと怖いなと自分でやってみて思ったので、実践研修が始まったときに、こういう答えが欲しいとか、何か事例の見本みたいなものをご提示いただくことで、ファシリテーターとして参加するときも結構安心して参加できた。それが答えというわけではないけれども、狙いはそこにあると、筋道が見えて、私はやりやすかった。 ・できるのであれば、補足の資料としてファシリテーター向けに、着地できない質問が来たときに、方向性を間違わない回答の見本的なものを作成いただけないかなという要望。
徳武委員	・ありがとうございます。実際の演習のそれこそ解答例というか、記載例を作ろうということになった。ファシリテーターの皆様がそれを見て、そういう形にできればと思う。
横山委員	・ありがとうございます。

妹尾委員長	・ そのように準備が進んでいるようでちょうど良かった。 ・ では、その他にはありますか。よろしいですか。
各委員	(発言なし)

4 「研修全体のつながりを意識した研修プログラムの作成」

妹尾委員長	・ 検討事項の(2)「研修全体のつながりを意識した研修プログラムの作成」になる。 ・ 前回、つながりを意識した取組に関してお話があった。前回は用語をどのように統一したらいいか、ご意見としては出ていた。今回は、ほかの検討チームと共有したい点等があれば、ご発言をお願いしたい。 ・ 先ほど基礎研のほうから検討時間の中で話したことは発表いただいた。それも踏まえて他のグループの方、または、もし基礎研の方でも、もっと詳しくお伝えしたいことがあれば、どなたからでも、是非どうぞ。
宮田副委員長	・ 先ほど話もさせていただいた、今までは基礎と実践のつながりが、基礎で個別支援計画を作成して、モニタリングという基本をして、実践でももう少し質を向上させるみたいな演習だった。事例検討会とSVのつながりみたいなところも出てきて、今までは自立支援協議会のつながりという感じだった。その部分についても更新の資料とかの参考にさせていただきながら、今後検討していきたいなというふうに思った。 ・ 私は今回、SVの説明会に出られなかった。説明会でファシリに説明していることが結構、研修の核かなという感じがする。それぞれの研修が大事にしてることとかがまとまっている資料になると思うので、そういったものを共有するというのもすごくいいと思った。
会田副委員長	・ 説明会ではスーパービジョン初めてというところで、スーパービジョンは下手したら一生かかっても身につかないのかなと思ったりもする。 ・ 結局、スーパービジョンする側が、教えるとか、答えを導き出すとかではなく、自分でどう気づくかかみたいところが主眼になっている。 ・ 今回の研修を受けたから、スーパービジョンがしっかりできるように身につくにはならないと思う。事業所に持ち帰ったときに普段やっていることも実はスーパービジョンの一種だったとか、体系化すると、もうちょっと丁寧にできるのだというヒントを持ち帰ってもらえるぐらいの落としどころで、受けてみて参考になったなというような成果を持ってもらえるといいと考えている。
妹尾委員長	・ では、私から。今、基礎研修の方からの検討、報告の中で出ていた、専門コース別研修の受講等について促しをする。この辺りについては、私が全部把握できていない。ふだんはどんなふうになっているのか。
宮田副委員長	・ 実践研修では去年から少しずつアナウンスを研修の中でし始めている。アンケートを見ると、児発管の方が児童について触れられていなく、事例もやっぱり成人の方なので、イメージしづらいみたいなことが度々言われていたので、研修のほうで、資料にはないが、アナウンスするようにし、今年度からは、プログラムの中にその説明を入れるということになっている。サビ管研修の流れを説明する中で、専門コース別研修というのがあって、ここで事例等のことは説明をするから、基本的に今回の研修の目的としてはここだよという説明は明確にする予定。

妹尾委員長	そんな形でよろしいですか。
事務局	・事務局です。同じ話がリーダー会有的时候にあり、それぞれの研修から話題に出ていた。基礎研修からも積極的に言ってもいいものかと話にでた。児発管についての説明が十分足りていないことについては、専門コース別研修の受講を勧めていくと聞いている。今年度の定員は400名あり、それぞれ研修から勧められても大丈夫と伝えた。 ・更新研修で受講されている方でも、結構サビ管から児発管、児発管からサビ管と、法人内での異動等で変わられる方々がいる。そういう意味でも必要な情報として、補足して、専門コース別研修を活用していただきたい。 ・募集の案内には、基礎研修受講の方を1行目に書いてあるが、基礎の受講者、受講修了者だけでなく、実践であるとか、またそれを平成30年度前からなさっている方でも受けていただけると記載している。
妹尾委員長	・ありがとうございました。 ・今の点について、いわゆる児発管の方たちの研修意欲につながってくる。引き続き周知をしていただいて、研修を受講する上でのモチベーションアップにもつなげていただきたい。 ・それでは、まとめということで、今日の議題については進めさせていただいたので、本日の議事録と資料のホームページ公開について、委員の皆様、ご了承いただけるか。
各委員	(異議なし)
妹尾委員長	・それでは、本日の検討事項が全て済んだことを宣言して、進行を事務局のほうに戻させていただきます。
事務局	・妹尾先生、ありがとうございました。 ・皆さんも大変お疲れさまでした。 ・最後に、第3回検討会までの間に、議事録要旨を事務局で作成し、皆様にメールで送るので確認いただきたい。 ・議事録要旨と、本日の資料を当センターのホームページに掲載する。 ・次回、第3回の検討会は11月8日金曜日午前中。会場は本日同様、飯田橋セントラルプラザ12階研修室で開催予定。詳細は別途案内する。 ・以上で閉会とさせていただきます。お忙しい中、ご参加ありがとうございました。

